

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 517 号	氏名	Morakot Kaewthamasorn
学位審査委員	主査 平山謙二 副査 中込治 副査 濱野真二郎		
論文審査の結果の要旨			
<p>1 研究目的の評価 本研究は、タイ北部の流行地において、熱帯熱マラリアの表面抗原分子である SURFIN4.2 遺伝子多型の集団での構成が 14 年間の時間的な経過により変化するか否かを検討することで、この遺伝子におよぼす免疫学的な選択圧の影響について明らかにしようとしたものであり、目的は十分に妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価 同じ流行地での異なる時期のマラリア原虫 DNA を多数収集し、集団遺伝学的な解析に耐えられる実験をデザインし、DNA 配列による多型性解析法や遺伝的な選択圧評価法、対立遺伝子頻度解析法などを適切に用いて解析したもので、研究手法も妥当である。</p> <p>3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、この遺伝子がおそらく免疫学的な機序により多型性を拡大する方向での選択圧を受けていること、しかし 14 年間の時間経過によってはその遺伝子多型の構成にまったく変化が見られないことが明らかになった。中等度流行地域での免疫標的分子をコードする遺伝子の集団内での長期間にわたる安定性を示したもので、今後のワクチン研究への進展が大いに期待される。</p> <p>以上のように本論文はマラリアの集団遺伝学研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。</p>			